

令和6年度 公募 スマートバイオ創薬等 研究支援事業

公募期間 令和6年2月15日（木）
～令和6年3月29日（金）正午

日本医療研究開発機構（AMED）
創薬事業部 医薬品研究開発課

スマートバイオ創薬等研究支援事業 令和6年度 公募枠と領域



公募枠		領域
【1-1】	研究開発を機動的かつ円滑に運営するための支援機能	バイオ分野の知財戦略や企業連携、薬事等の専門家による各研究課題の伴走支援
【2-1】	複合型の 研究開発	要素技術の組み合わせによるモダリティの高機能化
【2-2】	疾患応用の研究開発	疾患応用研究を組み合わせた革新的シーズの創出
【2-3】	萌芽的な研究開発	若手育成枠

目次

- 本資料は、公募要領の抜粋となります。
- 各ページの右上には公募要領のページが記載されています。

項 目	当資料の 該当ページ	公募要領の 該当ページ
事業について	P.4～P.6	P.1
公募の概要	P.7～P.14	P.4～P.14
審査項目と観点	P.15	P.32～P.33
選考スケジュール	P.16	P.31
研究開発提案書の留意点	P.17～P.21	P.25
e-Radについて	P.22～P.31	P.26～P.30
お問合せ先	P.32	P.63

- 詳細につきましては公募要領（スマートバイオ等研究支援事業・令和6年度）を必ずご確認ください。
- 当資料は、AMEDの公募のページにて公開されています。

事業の方向性

公募要領 P.1



「スマートバイオ創薬等研究支援事業」（以下「本事業」という。）は、我が国から革新的なバイオ医薬品等を創出し、国際競争力を強化するため、令和6年度から5か年の計画でAMEDが実施する委託事業です。本事業では、バイオ医薬品等（抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療など）の高機能化に資する基盤技術や、創薬周辺基盤技術（ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）、効果・安全性評価、イメージングなど）等の要素技術同士の組み合わせ、要素技術と疾患応用研究の組み合わせ等により、優れた創薬シーズの研究及び事業開発を推進するとともに、速やかな臨床応用に繋げることで、我が国発の革新的な高機能バイオ医薬品等の創出を目指します。

本事業の研究開発課題の推進に当たり、プログラムスーパーバイザー（以下「PS」という。）、プログラムオフィサー（以下「PO」という。）等の指示の下、本事業を機動的かつ円滑に運営するために必要な支援体制の確立も目指します（支援班の設置）。

事業の目的

公募要領 P.1



先端的医薬品等開発における我が国の国際競争力を確保するためには、アカデミアの優れた技術シーズを用いて革新的な基盤技術を開発し、企業における創薬に繋げていくことが必要となります。

本事業では、サイエンスに立脚したバイオ創薬基盤技術の開発や、要素技術の組み合わせ、最適化により技術パッケージを確立するとともに、要素技術とシーズを組み合わせることによりシーズの研究及び事業開発を推進し、臨床試験へのステージアップ（速やかに臨床応用に繋げること）を目指します。

事業の目標と成果

公募要領 P.1



本事業の目標は、採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度までに『臨床ステージアップ』することです。なお、本事業の目標達成には、臨床ステージアップに繋がる企業導出（自ら設立したスタートアップへの導出も含む）が重要であり、それを念頭に置いて事業を進めてください。

<臨床ステージアップ>

ここでいう臨床ステージアップとは、基本的に、臨床試験に移行可能な研究段階に到達していることを指します。当該達成については、個別案件ごとに、研究開発代表者から提出される蓋然性の根拠資料（進捗状況に応じて、非臨床試験の充足性、CMCの状況、PMDAとの対面助言記録、出口戦略に係る資料等に基づき、PSPO会議において、包括的に審議を行います。

臨床ステージアップの達成は、事後評価等における評価の重要な要素となります。

公募研究開発課題の概要-1

公募要領 P.6~P.8



【1-1】研究開発を機動的かつ円滑に運営するための支援機能（支援班課題）

支援対象となる研究開発課題（複合型研究開発課題、疾患応用研究開発課題、萌芽的研究開発課題）に対して、実用化を見据えた切れ目のない支援を本プログラムで行う。

【目標】

本プログラム内の研究開発課題の実用化を見据えた課題研究者の伴走支援を主目的とします。

【求められる役割】

「スマートバイオ創薬等研究支援事業」で採択された研究開発課題と適切に連携して、本プログラム内の各研究開発課題に対して、研究（基礎、非臨床試験など）及び事業開発（スタートアップ創出、企業導出など）支援などを含む包括的な支援活動の実施が求められます。

複合型 研究課題

要素技術の組み
合わせによる
モダリティの高機能化

疾患応用 研究課題

疾患応用研究を
組み合わせた革
新的シーズの創出

萌芽的 研究課題

若手研究者を対象とした従来の研究の延長線
上にはない挑戦的で独創性の高い研究

【1-1】

支援班課題

研究者を伴走支援する支援班を公募

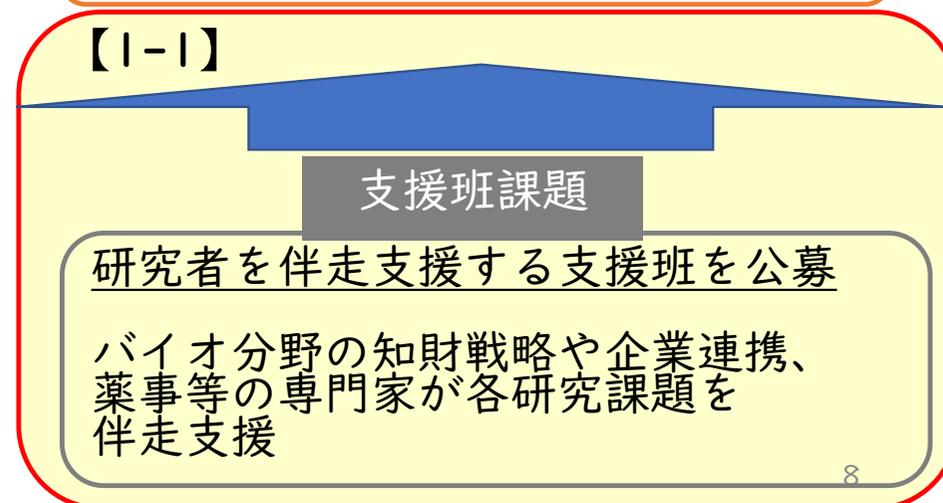
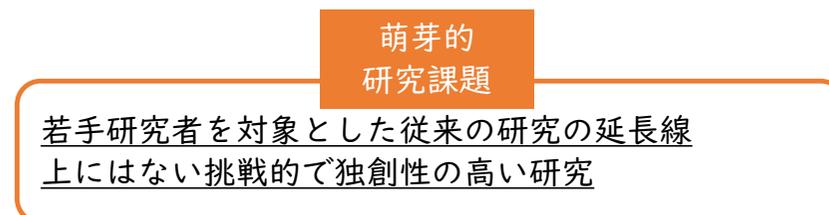
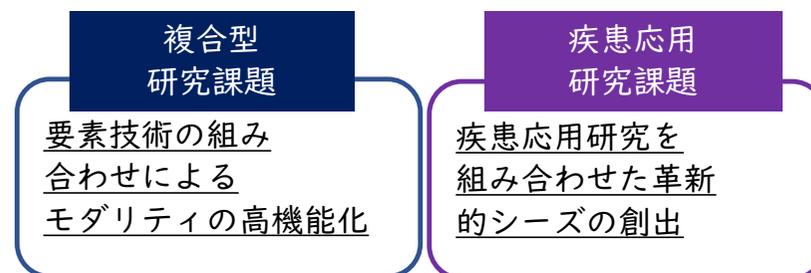
バイオ分野の知財戦略や企業連携、
薬事等の専門家が各研究課題を
伴走支援

公募研究開発課題の概要-2

公募要領 P.6~P.8



- ① 研究費の規模
1課題当たり年間上限**70,000千円**
(間接経費を含まない)
- ② 研究実施期間
令和6年8月(予定)~令和10年度末
- ③ 採択課題数：**0~1課題程度**



公募研究開発課題の概要-3

公募要領 P.8~P.11



【2-1】 複合型の研究開発(要素技術の組み合わせ) (複合型研究課題)

下記の(i)、(ii)で示す領域における基盤技術(要素技術)のうち、複数の技術を組み合わせることにより、その研究成果を本事業の最終年度までに臨床ステージアップすることが期待できる研究を対象とします。

- (i) バイオ医薬品等(抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療など)の高機能化に資する基盤技術に関する研究
- (ii) 上記(i)に代表されるバイオ創薬研究や治療法開発等の周辺基盤技術に関する研究(例えば、ドラッグ・デリバリー・システム(DDS)、効果・安全性評価、イメージング、分析技術等)

【目標】

採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度までに「臨床ステージアップ」することが求められます。

公募研究開発課題の概要-4

公募要領 P.8~P.11



① 研究費の規模

1年目 1課題当たり
年間上限**54,000千円**
(間接経費を含まない)
2年目以降 1課題当たり
年間上限**43,000千円** (間接経費を含まない)

② 研究実施期間

令和6年8月(予定)~令和10年度末
(但し、令和8年度における中間評価において、適切な進展や企業連携が認められない等と判断された課題については、3年度で研究実施期間が終了となります。)

③ 採択課題数：0~9課題程度

【2-1】

複合型
研究課題

要素技術の組み
合わせによる
モダリティの高機能化

疾患応用
研究課題

疾患応用研究を組み
合わせた革新的シーズ
の創出

萌芽的
研究課題

若手研究者を対象とした従来の研究の延長線上にはない
挑戦的で独創性の高い研究

支援班課題

研究者を伴走支援する支援班を公募
バイオ分野の知財戦略や企業連携、薬事等の専門家が
各研究課題を伴走支援

公募研究開発課題の概要-5

公募要領 P.11~P.13



【2-2】 疾患応用の研究開発 (要素技術とシーズの組み合わせ) (疾患応用研究課題)

下記の(i)、(ii)で示す領域における基盤技術(要素技術)とシーズを組み合わせることにより、その研究成果を本事業の最終年度までに臨床ステージアップすることが期待できる研究を対象とします。

- (i) バイオ医薬品等(抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療など)の高機能化に資する基盤技術に関する研究
- (ii) 上記(i)に代表されるバイオ創薬研究や治療法開発等の周辺基盤技術に関する研究(例えば、ドラッグ・デリバリー・システム(DDS)、効果・安全性評価、イメージング、分析技術等)

【目標】

採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度までに「臨床ステージアップ」することが求められます。

公募研究開発課題の概要-6

公募要領 P.11~P.13



① 研究費の規模

1年目 1課題当たり

年間上限**97,000千円**

(間接経費を含まない)

2年目以降 1課題当たり

年間上限**78,000千円** (間接経費を

含まない)

② 研究実施期間

令和6年8月(予定)~令和10年度末

(但し、令和8年度における中間評価において、適切な進展や企業連携が認められない等と判断された課題については、3年度で研究実施期間が終了となります。)

③ 採択課題数：0~5課題程度

複合型
研究課題

要素技術の組み
合わせによる
モダリティの高機能化

【2-2】

疾患応用
研究課題

疾患応用研究を
組み合わせた革新的
シーズの創出

萌芽的
研究課題

若手研究者を対象とした従来の研究の延長線上にはない
挑戦的で独創性の高い研究

支援班課題

研究者を伴走支援する支援班を公募
バイオ分野の知財戦略や企業連携、薬事等の専門家が
各研究課題を伴走支援

公募研究開発課題の概要-7

公募要領 P.13~P.14



【2-3】萌芽的な研究開発（若手研究者）（萌芽的研究課題）

下記の(i)、(ii)で示す領域における研究領域において、次世代の基盤技術を創出すべく、従来の研究の延長線上にはない挑戦的で独創性の高い研究を対象とします。

- (i) バイオ医薬品等（抗体、ペプチド、核酸、遺伝子治療、細胞治療など）の高機能化に資する基盤技術に関する研究
- (ii) 上記(i)に代表されるバイオ創薬研究や治療法開発等の周辺基盤技術に関する研究（例えば、ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）、効果・安全性評価、イメージング、分析技術等）

【目標】

採択した研究開発課題の成果である有望な技術やシーズを、本事業の最終年度までに「臨床ステージアップ」することが求められます。

公募研究開発課題の概要-8

公募要領 P.13~P.14



① 研究費の規模

1課題当たり年間上限**10,000千円**
(間接経費を含まない)

2年目以降は、1課題当たり
年間上限**8,000千円** (間接経費を
含まない)

② 研究実施期間

令和6年8月(予定)~令和10年度末
(但し、令和8年度における中間評価に
おいて、適切な進展が認められない等と
判断された課題については、
3年間で研究実施期間が終了となります。)

複合型 研究課題

要素技術の組み合わせ
によるモダリティの
高機能化

疾患応用型 研究課題

疾患応用研究を
組み合わせた革新的シーズ
の創出

【2-3】

萌芽的 研究課題

若手研究者を対象とした従来の研究の
延長線上にはない挑戦的で独創性の
高い研究

支援班課題

研究者を伴走支援する支援班を公募
バイオ分野の知財戦略や企業連携、薬事等の専門家が
各研究課題を伴走支援

審査項目と観点

公募要領 P.33



本事業における課題の採択に当たっては、提案書類について以下の観点に基づいて審査します。分担研究機関を設定した研究開発課題を提案する場合は、研究開発を遂行する上での分担研究機関の必要性と、分担研究機関における研究開発の遂行能力等も審査の対象となります。

審査項目	観点
(A) 事業趣旨等との整合性	・ 事業趣旨、目標等に合致しているか
(B) 科学的・技術的な意義及び優位性	・ 現在の技術レベル及びこれまでの実績は十分にあるか ・ 独創性、新規性、革新性を有しているか ・ 医療分野の進展に資するものであるか ・ 新技術の創出に資するものであるか ・ 社会的ニーズに対応するものであるか ・ 医療分野の研究開発に関する国の方針に合致するものであるか
(C) 計画の妥当性	・ 全体計画の内容と目的は明確であるか ・ 年度ごとの計画は具体的なもので、かつ、実現可能であるか ・ 生命倫理、安全対策に対する法令等を遵守した計画となっているか
(D) 実施体制	・ 申請者を中心とした研究開発体制が適切に組織されているか ・ 十分な連携体制が構築されているか ・ 申請者等のエフォートは適切であるか ・ 不合理な重複／過度の集中はないか
(E) 所要経費	・ 経費の内訳、支出計画等は妥当であるか
(F) 事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目	・ 本事業で求める方向性、目標と成果に適合しているか

選考スケジュール

公募要領 P.31



提案書類の受付期間・選考スケジュール

提案書類受付期間	令和6年2月15日（木）～ 令和6年3月29日（金）正午（厳守）
書面審査	令和6年4月中旬～令和6年6月上旬（予定）
ヒアリング審査	令和6年6月下旬（予定）
採択可否の通知	令和6年7月中旬（予定）
研究開発開始 （契約締結等）日	令和6年8月中旬（予定）

研究開発提案書の留意点

提案書類

公募要領 P.25



応募には下記の書類を提出してください。
研究開発提案書類は、e-Radにて、提出をお願いします。

No.	必須/任意	必要な提案書類	備考
1	必須	(様式1) 研究開発提案書	
2	該当する場合は 必須	ヒト全ゲノムシーケンス 解析プロトコール様式	ヒト全ゲノムシーケンス 解析を実施する場合
3	必須	競合比較表 (別紙1)	【1-1】支援班課題へ応募 する場合は不要
4	該当する場合は 必須	研究開発に密接に係わる 知的財産に関する情報を 可能な範囲でまとめた書類	研究開発に関連する 知的財産関連情報がある 場合

AMEDにて用意している提案書類の様式についてはAMED
ウェブサイトの公募情報からダウンロードしてください。
<https://www.amed.go.jp/koubo/>

記載時の注意

様式1



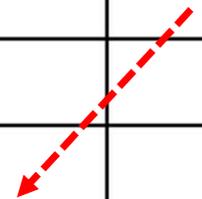
7. 各年度別経費内訳

※課題申請時に規定されていた予算上限を超えていた場合は不受理とします。

(単位：千円)

大項目	中項目	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費					
		消耗品費					
	2. 旅費	旅費					
	3. 人件費・謝金	人件費					
		謝金					
	4. その他	外注費					
		その他					
	小計						
間接経費							

直接経費小計は申請する研究課題の年間上限額を超えないようにしてください。



ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式



【ヒトの全ゲノムシーケンス解析プロトコールについて】	
※ この申請を行うに当たり、公募要領中の以下の項目内容を必ず熟読してください。その上で、「確認した」ことを回答願います。	
※ 内容に不明な点が生じた場合には、すみやかに担当事務局へ問い合わせてください。	
【確認事項】	「確認した」場合には、プルダウンで選択回答
<p>(I) 公募要領 第2章2.6データシェアリングについて： <small>AMEDにて、AMEDの承認を得た研究機関が個人ゲノムデータを提供する目的に、AMEDが一元管理プラットフォーム（以下プラットフォーム）の整備を進めています。プラットフォームは以下の研究機関と共同でゲノムデータセンターとして、既にプラットフォームで共有可能なゲノムデータは自動的に収集すること、および当該機構の最先端技術の最先端研究で内部に活用可能なことを目的として、既にプラットフォームで共有可能なゲノムデータ解析プラットフォームを使用して生成したシーケンスデータを提供します。</small> そのため、研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析（注1）を実施するにあたっては、その解析に用いるプロトコール情報の提出を必須とします（注2）。ヒト全ゲノムシーケンス解析のプロトコールについては、特に下記の項目について明記することが求められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライブラリー作成（キット名、断片長等） ・シーケンス反応（キット名、リード長等） ・解析装置の機種名（機種名、型番等。外注の場合は外注先も記入） ・ゲノムコントロールOCの方法 ・リアルタイムシークエンシングプラットフォームの方法 <p>※注1、AMEDが承認済みのヒトの全ゲノムシーケンス解析は、外部機関等に解析を委託するが適用に及びません。当該プラットフォームに用いる機体、当該プラットフォームに解析装置（解析装置のメーカー及び型番）を管理するまでの状態で完成したデータ（注1）のみが適用です。以下の場合は例外、例外に特記出してください。（注2）</p> <p>ヒトの全ゲノムシーケンス解析結果をその事業が関係した知見や成果を論文発表、学会発表、国際共同研究や企業の新規開発、正当な理由があるのとして個別に研究員（AMED承認）AMEDが関係する目的の上で利用して認める場合は、AMEDが研究員-研究機関に承認（ゲノムデータセンター）及び 委託（研究機関）申請に基づき、ゲノムデータセンターを見直し、又は改訂する場合に、AMEDの承認を受けることが必要です。</p> <p>※ https://www.amed.go.jp/irohito/04/0403/0403070403.pdf</p> <p>(注1) 全ゲノムシーケンス解析 ここでは、次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全ゲノム解析を指します。なお、次世代シーケンサーを用いる解析のうち、全ゲノムまたは全エクソーム以外を対象とする全ゲノム解析や、アレイ解析、サンガー法によるシーケンス解析は含みません。</p> <p>(注2) 厚生労働省の「個人遺伝情報データベース構築システム（DRiBNE）」におけるヒトの全ゲノムシーケンス解析の取扱いについては、事業方針に記載します。 <small>「個人ゲノムデータベース構築システム（DRiBNE）」について https://www.amed.go.jp/irohito/04/0403/0403070403.pdf</small></p>	(選択してください)
<p>(II) 公募要領 第4章4.1スケジュール・審査方法等： (注3) ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合で、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式の提出がない場合は、不受理します。</p>	(選択してください)
<p>(III) 公募要領 第5章5.1.4応募に必要な提案書類： <small>（提出する場合は必須）ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式 ※ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合</small></p>	(選択してください)
<p>(IV) 公募要領 第5章5.1.3 提案書類の様式及び作成上の注意： (注4) 別冊となる書類について、必ず記載している条件を満たさない提案</p>	(選択してください)
<p>(V) 公募要領 第5章5.2研究開発提案書以外に必要な提出書類等について： (注5) ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式 ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール情報の提出が必要となります。シーケンスデータプロトコール情報の詳細については、第2章の応募に関する留意事項等の記載を参照してください。</p>	(選択してください)
<p>(VI) 研究開発提案書： <small>（ヒト全ゲノムシーケンス解析の項目への記入 ※実施する（実施しない）いずれかを選択。実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコール様式を提出。</small></p>	(選択してください)
【説明】	【回答】
事業名 研究開発課題名 研究代表者名 ヒト全ゲノムシーケンス解析（全エクソーム解析を含む）を実施するか (はい/いいえ) ライブラリー作成（キット名、断片長等） シーケンス反応（キット名、リード長等） 解析装置の機種名（機種名、型番等。外注の場合は外注先も記入） ゲノムコントロールOCの方法 リアルタイムシークエンシングプラットフォームの方法	

研究開発計画においてヒトの全ゲノムシーケンス解析（次世代シーケンサーを利用した全ゲノムシーケンス解析及び全エクソーム解析）を実施するにあたっては、その解析に用いるプロトコール情報の提出が必須です。

該当する提案者は、研究開発提案書のヒト全ゲノムシーケンス解析（ヒト全エクソーム解析も含みます）欄の 実施する にチェックを記載し、左記様式へ回答を記載し必ず提出してください。
 提出がない場合は、提案書類の不受理になります。

公募要領 P.25~P.26

参 考

☐ e-Rad入力マニュアル

e-Rad登録時の注意点



1. 令和6年度の「スマートバイオ創薬等研究支援事業」への応募は、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)を必ず利用してください。
2. e-Radの使用に当たっては、研究機関および研究者の事前登録が必要です。登録手続きに日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕をもって手続をしてください。また、すでに登録されている方でも異動等により登録情報に変更があった場合には、速やかにe-Rad登録情報を変更し、常に最新の情報となるようにしてください。
3. この文書は応募の流れを簡単に説明するものです。実際に応募する際は、e-Radポータルサイト (<https://www.e-rad.go.jp/>) 上にある「研究者向け マニュアル」をご参照ください。また、同マニュアルは、更新されることがありますので、随時確認してください。
4. 研究代表者が申請した段階では応募は完了していません。所属機関のe-Rad事務代表者が承認手続きを終えた段階で応募が完了することに留意してください。
5. 締切直前は応募が混み合い、申請に予想以上の時間がかかったり、登録がスムーズに進まない可能性がありますので、余裕を持った応募を心がけてください。締切を過ぎた応募は受理できません。

締切 令和6年3月29日(金) 12時正午 【厳守】

e-Rad登録時の注意点

- [応募（新規登録）]画面で**公募名を必ず確認し、必ず正しい公募に登録してください。**
素晴らしい提案であっても、公募名を間違えて選択して登録すると、公募の趣旨が異なるために不採択になってしまうことがあります。

応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。

公募名をまず確認

タブでの入力欄が表示されます。
ご確認ください。

公募年度／公募名

2024年度 / 【2-2】疾患応用の研究開発(要素技術とシーズの組み合わせ)

課題ID／研究開発課題名

必須

XXXXXXXX /

100文字以内

一時保存中の課題を配分機関に
公開する ?

必須



公開する



公開しない

基本情報

研究経費・研究組織

応募・受入状況

基本情報

提案書類の登録と 「研究インテグリティに関する情報」の注意事項

【基本情報】

基本情報-申請書類

名称	形式	サイズ	ファイル名	削除
応募情報ファイル 必須	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除	
+ 行の追加 - 選択行の削除				
名称	形式	サイズ	ファイル名	削除
競合比較表 必須	[PDF (PDF)]	5MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除	
参考資料 ヒト全ゲノムシーケンズ解析プロト	[PDF (PDF)]	2MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除	

[必須]と表示されている提案書類をアップロードしないと登録完了できません。

指定場所に提案書類をアップロードしてください。

【応募・受け入れ状況】

チェックしてください。

(兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む) 現在の全ての所属機関・役職

(兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む) 現在の全ての所属機関・役職	相手機関の所在地
--	----------

誓約状況
寄付金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与するすべての研究活動に係る透明性確保の為に必要な情報について、関係規定等に基づき所属機関に適切に報告しているか。

報告している (「研究者情報」の修正画面より研究インテグリティに関する情報を確認し、誓約状況のチェックボックスをチェックしてください。)

提案書類作成時のお願い

「研究開発提案書」、競合比較表（【1-1】支援班課題除く）および、その他必要書類を作成して下さい。

- ファイル名について

アップロードするファイル名には 所属先名・氏名を必ず記載してください。

*研究開発提案書：研究開発提案書_〇〇大学_栄目土太郎.pdf

*競合比較表：競合比較表_〇〇大学_栄目土太郎.pdf

※ e-Radへのアップロードは全てPDF形式のみとなります。

応募情報の登録（研究経費・研究組織）

基本情報 | **研究経費・研究組織** | 応募・受入状況

「研究経費・研究組織」のタブをクリックして入力

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内訳」を入力してください。

1.費目ごとの上限と下限

	上限
直接経費、間接経費の合計	(設定なし)
間接経費	(直接経費の30%)

2.年度別経費内訳

大項目	中項目	2024年度	2025年度	合計
直接経費	直接経費	<input type="text"/> ,000円	<input type="text"/> ,000円	
	小計	0円	0円	
間接経費 (上記経費の30%以内)	間接経費	<input type="text"/> ,000円	<input type="text"/> ,000円	0,000円
合計		0円	0円	0円

この欄に直接経費額を入力してください。

この欄に間接経費額を入力してください

応募情報の登録（研究経費・研究組織）

研究組織

1.申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目を入力してください。ここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力した各費目の初年度

「研究経費」で入力した額と「研究組織」で入力した額との差額がゼロにならないと登録が完了しません。

	初年度の申請額	研究者ごとの金額合計	左記
直接経費	0円	0円	0円
間接経費	0円	0円	0円

2.研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

行の追加

研究者を検索	研究者番号 生年月日 氏名（年齢）	研究機関 部局 職/職階 必須	専門分野 学位・取得年月日・大学 役割分担 必須	直接経費 間接経費 ? 必須	エフ ー （%） 必須
	代表者 XXXXXXXX YYYY/MM/DD ○○ ○○○ (XX歳) (△△△△ △△△△)	○○機関 ○○部局 ○○長/○○クラス	<input type="checkbox"/> ○○学位・ YYYY/MM/ DD・○○ 大学	<input type="text"/> ,000円 <input type="text"/> ,000円	<input type="text"/>

この欄に代表者、分担者別の「直接経費」「間接経費」の額を入力してください。

行の追加 クリックして分担者を追加

選択行の削除

直接経費と間接経費に関して

公募要領では、研究費の規模を「**直接経費**」で記載しています。

※公募要領に規定されている単年度当たり予算上限を超えていた場合は不受理とします。

間接経費については、研究機関の経理・契約担当者にご相談ください。

間接経費は直接経費の30%（目安）となります。ただし、30%を超えることは出来ません。

【例示】

公募の記載例として

研究費の規模：1課題当たり 令和6年度 5,000千円上限（間接経費を含まず）

令和6年度 直接経費5,000千円、間接経費を30%



令和6年度	
直接経費	5,000千円
間接経費	1,500千円
研究費総額	6,500千円

応募手続き完了の確認

- 応募情報の入力完了すると、応募課題のステータスが「応募中/申請中/研究機関処理中」になります。
※この段階では応募は完了していません。
- 本公募は研究機関の承認が必要な公募です。
- 研究機関の事務代表者が承認してはじめてAMEDに応募ファイルが送られ、「応募中/申請中/配分機関処理中」になります（これで応募完了です）。

締切までに
「応募中/申請中/配分機関処理中」
となっていることが必要です。
(e-Rad上の画面で確認できます)

一時保存中の入力再開など、操作方法の詳細に関しては、
e-Rad研究者向け操作マニュアルをご参照ください。

お問い合わせ先



■ 公募課題、申請書の記載方法等の問い合わせ

AMED創薬事業部医薬品研究開発課

スマートバイオ創薬等研究支援事業 公募担当

E-mail : smart-bio@amed.go.jp

※お問合せは電子メールで、件名に【公募問い合わせ】を最初につけて
お願いします。 Ex. 【公募問い合わせ】提出書類について

■ e-Radシステムの操作方法

e-Radポータルサイトヘルプデスク

Tel: 0570-057-060 (ナビダイヤル)

利用できない場合は 03-6631-0622 (直通)

受付時間 9:00~18:00 (平日※)

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)を除く